



校訓 自主 創意 忍耐

# 岩野小学校だより

笑顔いっぱい あいさついっぱい 歌声いっぱいの学校に

発行責任者 校長 大倉 幸代

子ども達一人一人に大きな成長が見られた2学期が終わり、明日から冬休みとなります。これも上級生のすばらしいお手本があったからこそ！そして、保護者の皆様、地域の方々の温かい励ましのお言葉や学校へのご支援のおかげだと心から感謝申し上げます。

明日からの冬休みが、子どもたちにとって、保護者の皆様にとっても思い出に残る、有意義な冬休みになりますようお願いしています。

## ～冬休みも、自分の命は自分で守る岩野っ子に～

### 子どもたちへ

楽しい冬休みにするために、おうちの人といっしょに次のことを考えながらしっかりした計画を立てて冬休みをすごしてほしいと思います。

特に、次の6つのことをしっかり守ってください。

- ① 仕事（おてつだい）をきめてがんばること
- ② 体づくり、心そだての活動をする事
- ③ 勉強する時間と運動の時間、遊ぶ時間を入れること
- ④ 地域の行事などいろいろな活動に進んで参加すること
- ⑤ おうちの人やまわりの人に心配やめいわくをかけないようにすること
- ⑥ 自分の命は自分でまもること、とくに交通事故に気をつけるだけでなく、自分のまわりの危険をさけることができるようにすること



思い出いっぱいの楽しい冬休みにしてください。1月8日、元気で会いましょう。自学ノートを見るのを楽しみにしています。

### 保護者の皆様へ

クリスマス、お正月をはさんだ冬休みは、子どもたちにとって楽しいお休みです。冬休みを有意義に、安全に過ごせますように以下の三点について子どもさんとじっくり話し合いをお願いします。

#### 1. 安全な暮らしを……命を守るために

子どもたちだけで家庭で過ごしたり、友だちと遊びに行ったりすることがあります。事故や事件に巻き込まれないようにしましょう。

#### 2. 家族の一員であることの自覚を

手伝いをとおして、家族の一員としての自覚を育て、働くことの意味を知ることができます。また、協力すること、奉仕することなど社会生活にとって大切なことを学ぶこともできます。家族で仕事について話し合ったり、仕事の役割分担を決めたりして、子どものやる気を引き出すようにしてください。

#### 3. 親と子のふれあいを

もちつき、大掃除、お正月の飾り付けなど、子どもと親が共に過ごす時間が多いのもこの時期です。年を越しながら1年を振り返ったり今年の抱負や将来の夢とうについて話したりして、じっくり話ができる機会です。また、新年のあいさつや初詣などに出かけたり、昔から伝わる遊びを伝えるよい機会でもあります。たこあげ、はねつき、すごろく、福笑いなどで一緒に遊んでみられてはいかがでしょうか。

裏面もご覧ください。

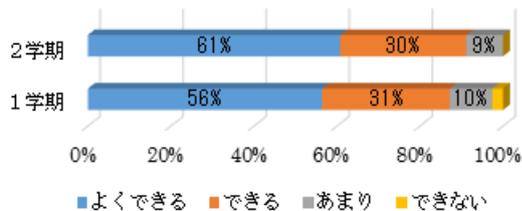
## 2学期期終業式の校長の話より

# 「そろえる」「鍛える」「続ける」「ほめる」 そして「かかわる」

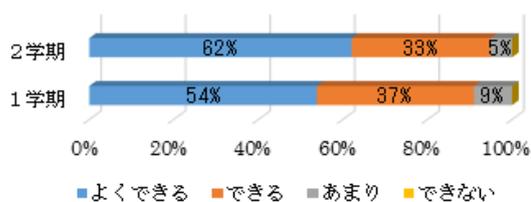
2学期は、「そろえる」「鍛える」「続ける」「ほめる」「かかわる」をキーワードにがんばってきました。

その結果、子ども達の成長をととても感じました。下のグラフは子ども達へのアンケートの結果です。このグラフからも、子ども達の成長した具体的な姿として、「自分の考えを堂々と発表する」「友だちの発表を聞いて感想を述べることができる」「自分から進んで学習しようとする意欲が高まってきている」などです。子ども達自身も「笑顔いっぱい過ごしている」「あいさつができてきている」「自分で考えて行動できている」「心と体の健康に気をつけている」などが1学期より向上が見られると感じているようです。

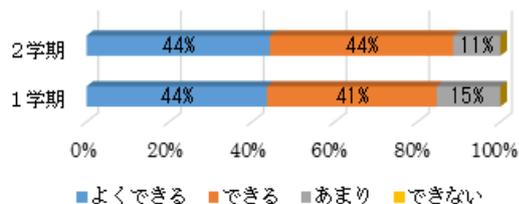
笑顔いっぱい過ごしている



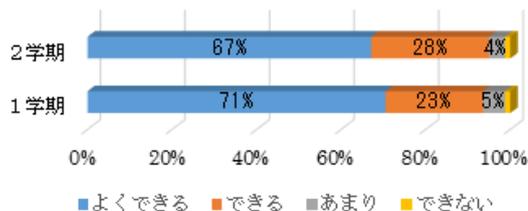
あいさつができてきている



自分で考えて行動できている



心と体の健康に気を付けて過ごしている



今後も学校では、学校教育目標の具現化に向け、特に、「鍛える」「続ける」を継続して指導していきます。

さらなる成長をめざして、特に、ご家庭では、「ほめる」「かかわる」を中心に今後ともご理解とご協力をお願いします。



毎日の規則正しい生活といろいろな体験をとおして、心身共にたくましく成長した子どもたちの姿を見るのを1月8日心待ちにしています。